

4 資源循環

(1) ごみ

廃棄物にかかわる問題は深刻です。近年の大量生産、大量消費等を背景とした「ごみ量の増大」や「ごみ質の多様化」が進み、適正処理の困難さや有害物質による環境への影響が顕著化しています。

これらに鑑みてわが国の清掃行政においても、廃掃法の改正や容器包装リサイクル法の制定等、従来の「適正処理（集めて、燃やして、埋める）」から「排出抑制（ごみを出さないようにする）」や「循環型処理（出てきたごみを極力リサイクルする）」へと視点を変えることが必要であるといわれています。

生活系ごみは、人口が減少傾向にある中で増加傾向にあるため、排出抑制及び資源化の推進が必要です。

事業系ごみは、微増傾向にありますが、このまま推移するものと考えられます。

また、地域のごみステーションにおける、ごみの出し方などの使用マナーを改善する必要があります。



(2) リサイクル

本市においては、ごみステーションで回収した一般家庭ごみのうち、缶・ビン・ペットボトルについては、資源ごみとしてリサイクルしております。

なお、回収後、リサイクルセンターにて缶は、アルミ・スチール・その他など 4 種類に、ビンは色ごとに 3 種類に分別しています。

また毎月、資源ごみとして、衣類、古紙（新聞、広告、雑誌、段ボール）、食用油を回収しています。

以上の資源ごみ 11 品目については、売却しております。

分別収集による資源化を勧め、再利用率の向上につながる活動が必要です。

なお、阿波市のリサイクル率は 10.71%となっています。



(3) 生活排水処理

本市の污水処理人口普及率は2016(H28)年度末で52.7%となっており、内訳は農業集落排水等整備率6.0%、合併処理浄化槽人口普及率46.6%となっています。

水質保全については、市内の河川や排水路を浄化することが重要ですが、特に流量が少なく、汚濁の影響を受けやすい河川は、汚濁そのものを減らすために発生源からの水質改善を図ることが必要です。

主に汚濁の原因は、家庭からの生活排水を中心とした栄養塩類の流出増大によるものと考えられ、水質を守っていくためにも、生活排水対策を図っていくことが必要です

污水処理人口普及率の状況 2016(H28)年度末現在

項 目	阿波市	徳島県全体
住民基本台帳人口	38,572 人	760,224 人
污水処理人口	20,322 人	448,078 人
污水処理人口普及率	52.7%	58.9%
農業集落排水等整備人口	2,333 人	20,748 人
農業集落排水等普及率	6.0%	2.7%
住宅用途合併浄化槽設置済み人口	17,989 人	284,069 人
住宅用途合併処理浄化槽人口普及率	46.6%	37.4%

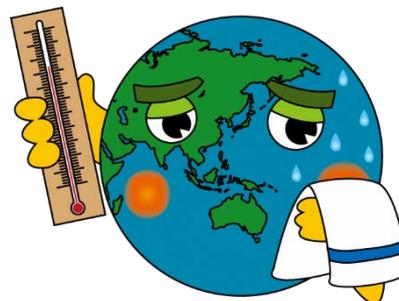
6 低炭素

(1) 地球温暖化（脱炭素社会）

阿波市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、基準年である2013（H25）年度における本市関連公共施設からの温室効果ガス排出量は、6,614tCO₂でした。

また、本市におけるCO₂排出量の概算値は次のとおりです。

本市における温室効果ガスの排出抑制に対する取り組みとしては、阿波市地球温暖化対策実行計画（事務事業編・区域施策編）に基づき、節電、冷暖房温度の適正化、エコ運転など、対応できる取り組みを実施します。



阿波市内におけるCO₂排出量の概算値

産業部門	製造業		62.739	千トンCO ₂
	建設・鉱業		3.414	千トンCO ₂
	農林水産業		1.692	千トンCO ₂
	小計 (①)		67.845	千トンCO ₂
家庭部門 (②)			79.286	千トンCO ₂
業務部門 (③)			43.570	千トンCO ₂
運輸部門	自動車	(旅客)	42.298	千トンCO ₂
		(貨物)	54.085	千トンCO ₂
	鉄道		2.934	千トンCO ₂
	船舶		0.000	千トンCO ₂
	小計 (④)		99.317	千トンCO ₂
廃棄物部門 (⑤)			4.420	千トンCO ₂
合計 (① + ② + ③ + ④ + ⑤)			294.439	千トンCO ₂

※環境省（平成29年7月時点における最新統計資料に基づく）

(2) 再生可能エネルギー

深刻化する地球温暖化は、私たちの暮らしから排出するCO₂（二酸化炭素）の排出が原因であることは明らかであり、近年頻発する異常気象も地球温暖化に起因すると言われています。地球環境を守るための脱炭素社会への取り組みは、本市においても積極的に取り組むべき課題となっています。

化石燃料の大量消費、車社会の進行など、人間の活動により、大気中の温室効果ガスが大幅に増えた結果、熱の放出と保温のバランスが崩れ、地球の温度が上昇し続けています。

このような地球温暖化の影響として、海水面の上昇、生態系の変化、異常気象、農作物への影響などがあられ、今後の悪化が懸念されています。

本市は、省エネルギーの導入推進によりエネルギー消費量を減らし、新エネルギーの普及促進を行うとともに、緑化を推進することで、地球温暖化やヒートアイランド現象を抑制し、地球環境にやさしいまちの形成を目指します。

市民・事業者・行政の各主体が、それぞれの立場からエネルギー使用量の削減や、再生可能エネルギー導入等の地球温暖化対策への取り組みを進めなければなりません。

本市には、CO₂吸収源となる豊かな森林と太陽光や、バイオをチップなどの新エネルギーの資源が豊富にあります。

また、低炭素社会を実現するためには、エネルギーの消費量を減らすことが必要です。エネルギー消費量を減らすためには、省エネルギーの導入推進や太陽光エネルギーをはじめとした新エネルギーの普及促進といった施策を展開する一方で、市民一人ひとりが高い問題意識を持って、自発的に取り組む必要があります。

今後開発される新エネルギー技術についても、随時導入を検討する必要があります。

本市では、再生可能エネルギーである太陽光エネルギーの活用に向けて、「住宅用太陽光発電システム」を設置する市民に対して、設置費の一部を補助しています。平成27年度17件、平成28年度26件、平成29年度25件の補助金の申請がありました。



7 共生・協働

(1) 環境教育

阿波市で行われている環境教育は次のとおりです。

環境教育の一環として、食育や、農業体験を通じて、本市の基幹産業である農業に対する考えとして、農地が荒れることのないように使うことと、安全な栽培が健康被害の予防につながることなどを学習しています。

また、市内小学生を対象に簡単に水質が判断できる「水生生物調査」や出前講座で、汚水処理の大切さを学習し、河川に親しみ、水をきれいにする意識を育みます。

このような体験を通じ、環境に対する意識を育むことが大切です。

阿波市における環境教育

安全食育	安全な食材や地産地消による環境に配慮した野菜作りや、料理方法について学習しています。
農業環境	小学生が田植えや稲刈り、小麦栽培などの農業体験を通して、農地の健全な保全に協力しています。
河川環境	大俣小学校では、ヘドロ・硫化物・有害物質による臭気・水質改善を目的として、キトサン団子約3,000個を法寺谷中池へ投入し、水質改善の学習をしました。 小学生が川の水をきれいにするための取り組み学習を行いました。 水の汚れの原因（透視度、CODパケット）の実験や、底生生物調査を行いました。 徳島県及び徳島県環境技術センター、市環境衛生課の合同による、汚水処理についての出前講座を開催しています。
いきもの	昆虫の進化、体の特徴についての授業を行っています。 (標本の作り方や虫の捕獲方法など)



(2) 環境保全活動

阿波市で行われている環境保全活動を次のとおりです。

阿波市における環境保全活動

団体等	活動内容（環境保全に係る内容）
土成町ボランティア連絡協議会	国道318号線及び広域農道などの道路のごみ拾いなど日土成町内の26の団体が共同で環境美化活動を行っている
吉野中学校 土成町ボランティアグループ ボランティアグループとなり	アドプト吉野川活動及び吉野川一斉清掃活動による景観美化活動を行っています。
市場町 花花クラブ	通学路や遍路道の花壇の整備や周辺道路の草刈・清掃を行っています。
善入寺を守る会 切幡地域自然保全隊	切幡寺から善入寺島の遍路道を彼岸花で彩る活動を支援しています。
大久保谷川ホタル保存会	ホタルの幼虫の餌となるカワニナの放流や周辺環境整備など年間を通じてホタルを守る活動を行っています。
大久保谷川クリーンクラブ	毎月第1日曜日に大久保谷川の美化活動を行っています。
地元ボランティア・市職員など	山間部などの不法投棄された場所での粗大ごみなどの回収作業を行っています。



アドプト吉野川



善入寺島をきれいに



大久保谷川のホタル



不法投棄ごみ回収

(3) コミュニティづくり

共生・協働を目標とするならば、地域コミュニティづくり、地域ぐるみの活動は、必要不可欠です。

本市においては、地域のつながりとして、自治会という組織があります。共同でゴミステーションの管理を行ったり、水路・道路保全活動などを行っています。

また、いろいろなボランティアグループがあり、それぞれの環境美化活動を行っています。

「持続可能な地域社会」の実現に向け、子どもから大人、事業者に様々な環境学習プログラムを展開し、環境保全活動を担う人が「学び、育つ場」、その活動を「支援・連携する場」、環境保全活動の成果を「発信する場」の事業が必要です。



(4) エシカル普及活動

「エシカル消費」とは、「倫理的消費」のことであり、消費を通じて世界を変える可能性を秘めていると考えられ、環境への負荷などの社会的コストの意識を含め、取り組みの必要性を広く国民が理解し、積極的に行動することに期待されています。

徳島県では、消費を通じて環境、人や社会、地域における社会的課題を解決する「エシカル消費」を徳島から全国へと発信していくため、平成29年2月に「とくしまエシカル宣言」を実施し、「とくしまエシカル消費推進会議」を設立しました。

環境保全活動の普及啓発として「エシカル消費」の意識のさらなる向上を図り、学校教育等を含め幅広く周知を進め、さまざまな主体の連携による推進活動を行う必要があります。



8 市民・事業者の意識

(1) アンケート調査

本計画を策定するにあたり、本市における環境の現状、課題および市民・事業者の環境への取り組み状況を把握することを目的として、2017(H29)年8月1日からアンケートを実施しました。

市民・事業者アンケート調査方法

	市民	事業者
調査対象	市内に居住する中学生以上の男女 1,000 人	阿波市内の事業所 300 社
調査方法	地区別に 吉野町 208 人 土成町 207 人 市場町 268 人 阿波町 318 人 合計 1,000 人 を無作為に抽出	市全体を対象に無作為に抽出
回収数	393 人	186 社
回収率	39.3%	62.0%



アンケートの評価を以下に示します。△のついた事項について、阿波市民は重要と認識していますが、必ずしも満足していないことがわかります。

阿波市アンケートにおける環境の評価

環境分野	質 問	市 民	事業所
自然共生	身近な自然の豊かさ	○	○
	街並みの美しさ	△	△
	自然災害に対する安全性	△	△
	水辺や野山の生きものの生息状況	○	○
	水と緑に囲まれた自然環境の保全	○	○
	史跡や文化財の保護	○	○
	希少な野生生物の保護状況	○	○
	地産地消（地場農産物の消費）の取組み	○	○
	地元産の農作物のおいしさ	○	○
	阿波市の農作物のPRの状況	○	○
安全安心・快適	川や水路のきれいさ	○	○
	家庭や事業所からの汚水処理の状況	○	○
	空気きれいさ	○	○
	いやなにおい（悪臭）の少なさ	○	○
	家の周りの静けさ	○	○
	水（水道、簡易水道など）のおいしさ	○	○
	阿波市の住みやすさ	○	○
資源循環	廃棄物の不法投棄の状況	△	△
	家庭からのごみの分別や出し方のマナー	○	○
低炭素	家庭での省エネルギーへの取組み	○	○
	太陽光発電など新エネルギーの導入	△	△
共生・協働	市民一人ひとりの環境に対する意識	△	△
	環境教育・環境学習の状況	△	△
	イベントや取組みなど環境情報の入手状況	△	△
	地域の美化などの環境保全活動状況	○	○

○「重要かつ満足である」：（重要）＋（やや重要）＞60% かつ（満足）＋（やや満足）＞60%

△「重要かつ不満の傾向あり」：（重要）＋（やや重要）＞60% かつ（満足）＋（やや満足）＜60%

(2) 環境分野の特性と課題

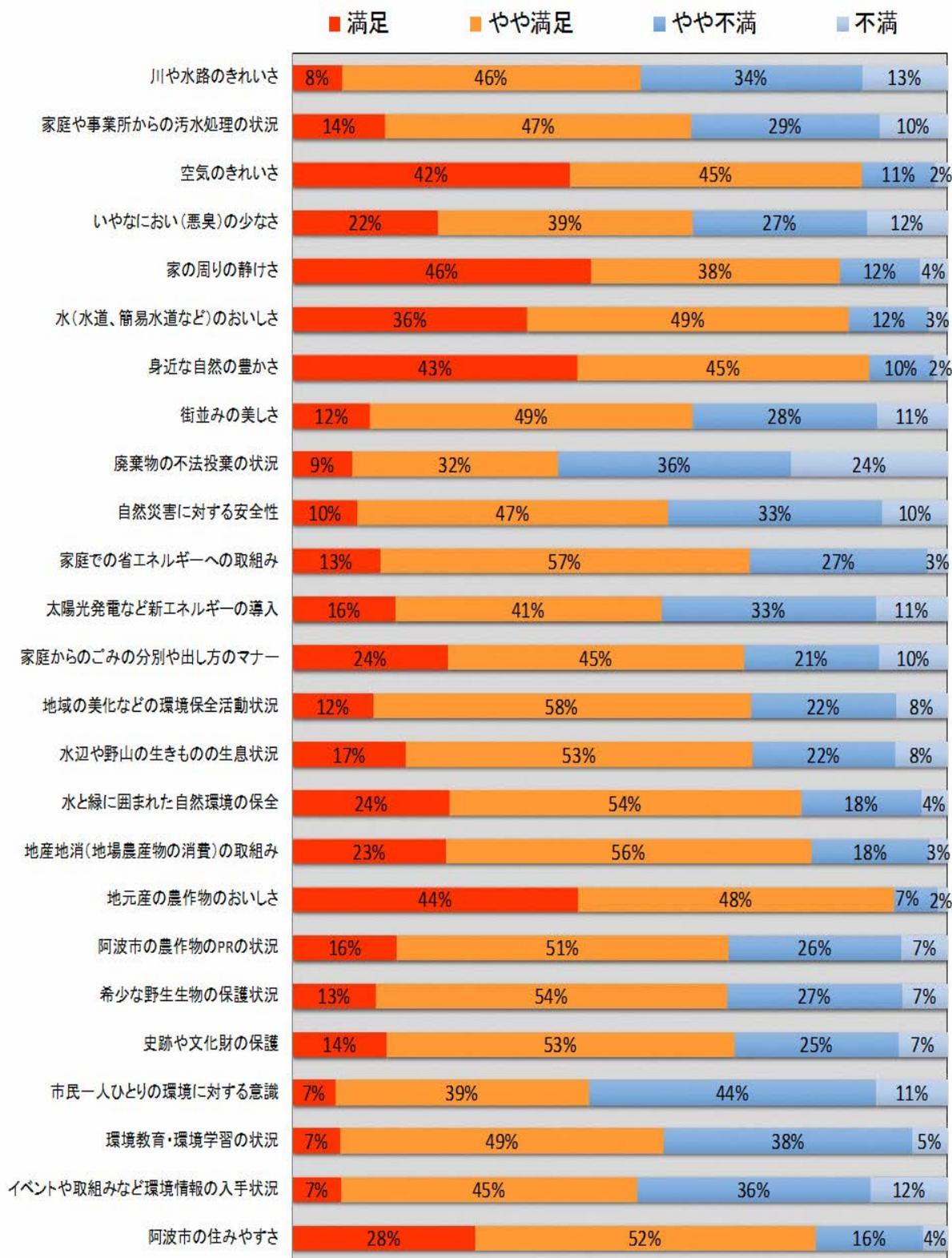
阿波市の現状やアンケート結果を踏まえ、環境分野の特性と課題を表に整理しました。

阿波市の環境に関する特性と課題

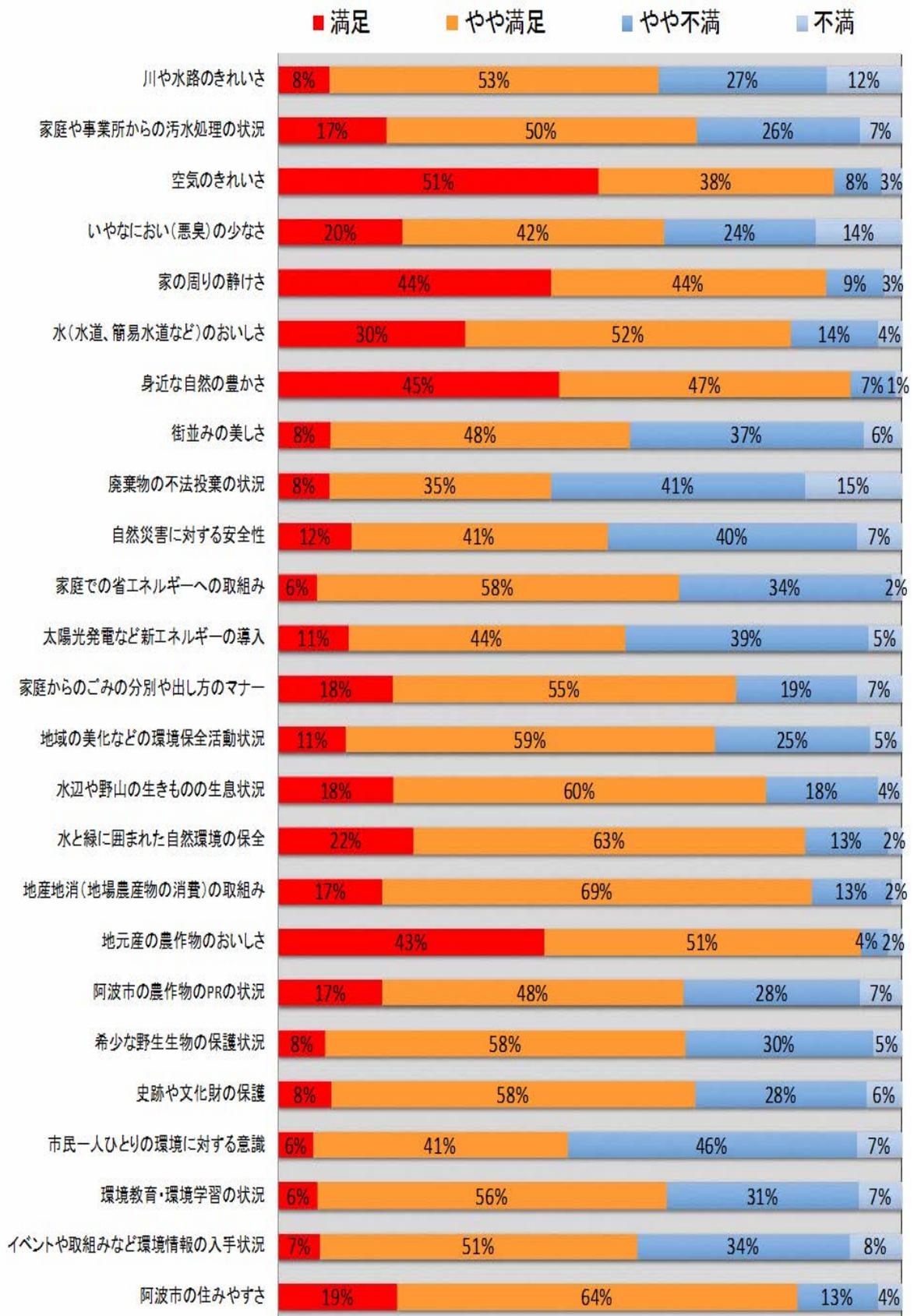
環境の範囲	特 性	課 題
自然共生	☆本市の豊かな自然環境は、市民の誇りとなるとともに、来訪者にとって魅力となる資源 ☆ 県下有数の農業のまち 【アンケート結果】 ・身近な自然の豊かさ ・農産物のおいしさ	☆やすらぎ空間の適切な保全・活用 ☆身近な自然の豊かさの保全
安全安心・快適	☆水質良好でない川が存在 ☆地下水及び土壌、大気、騒音・振動、有害化学物質は問題ない 【アンケート結果】 ・川、空気のきれいさ ・家の周りの静けさ	☆水のおいしさの保全 【アンケートコメントより】 ・中央構造線が震源となる地震への不安
資源循環	☆ごみの分別・収集、資源ごみのリサイクル ☆野焼き対策 【アンケート結果】 ・不法投棄の多さ	☆汚水処理人口普及率および汚水処理の進捗状況の向上 ☆川や水路をきれいにする ☆不法投棄の防止 【アンケートコメントより】 ・野焼きの適正管理
低炭素	☆地球温暖化対策の実施 ☆省エネルギーの推進	☆地球温暖化対策の推進 ☆環境家計簿の普及促進
共生・協働	☆農業を活かした環境学習 ☆市民団体によるボランティア活動 ☆市民活動の情報発信・誘致 【アンケート結果】 ・地域美化活動	☆地域における環境学習の推進 ☆環境保全の人材育成 ☆環境に対する意識の向上 ☆市民団体活動の支援・推進

(3) アンケート結果（満足度）

【 市民 】

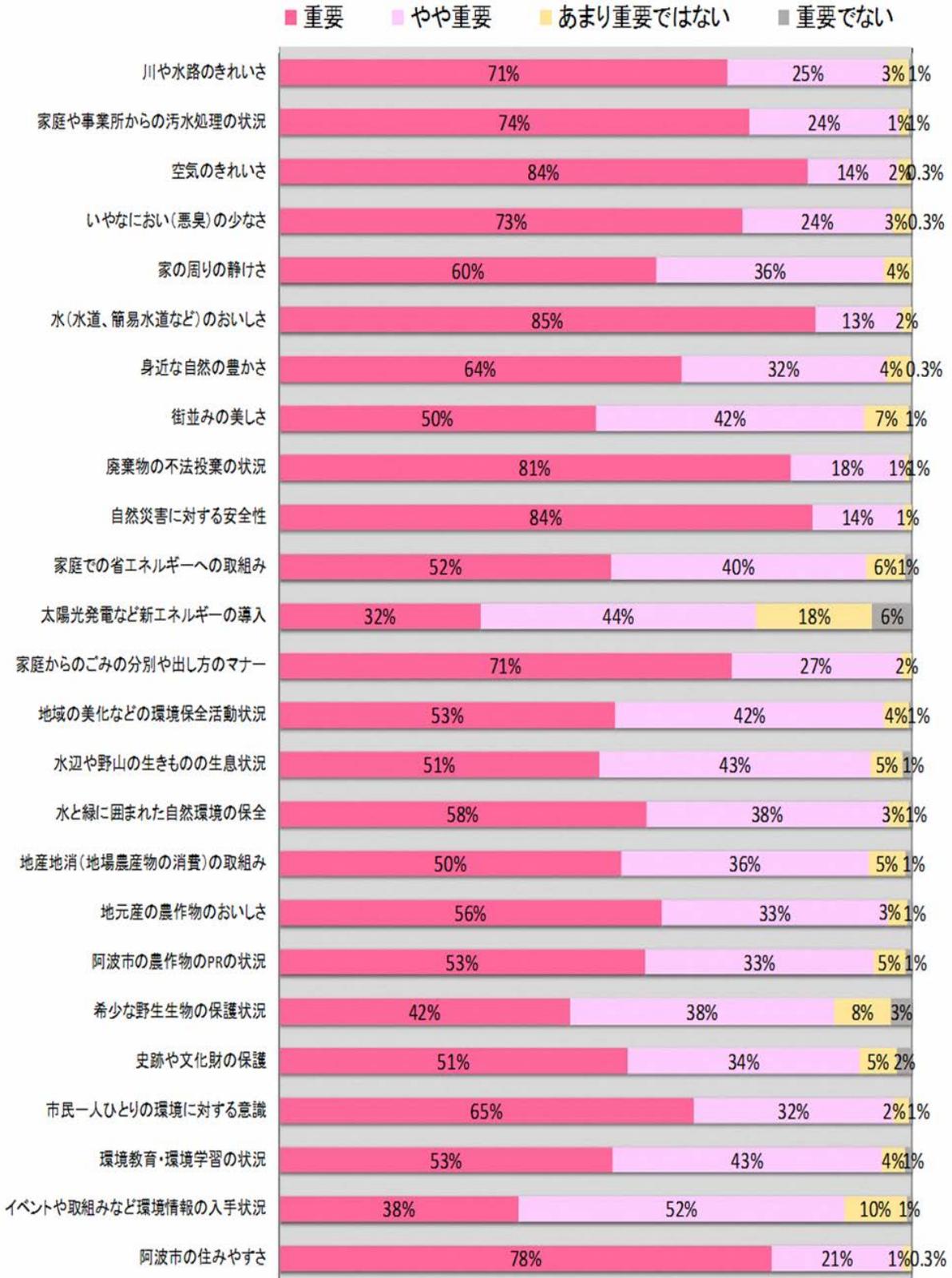


【 事業所 】

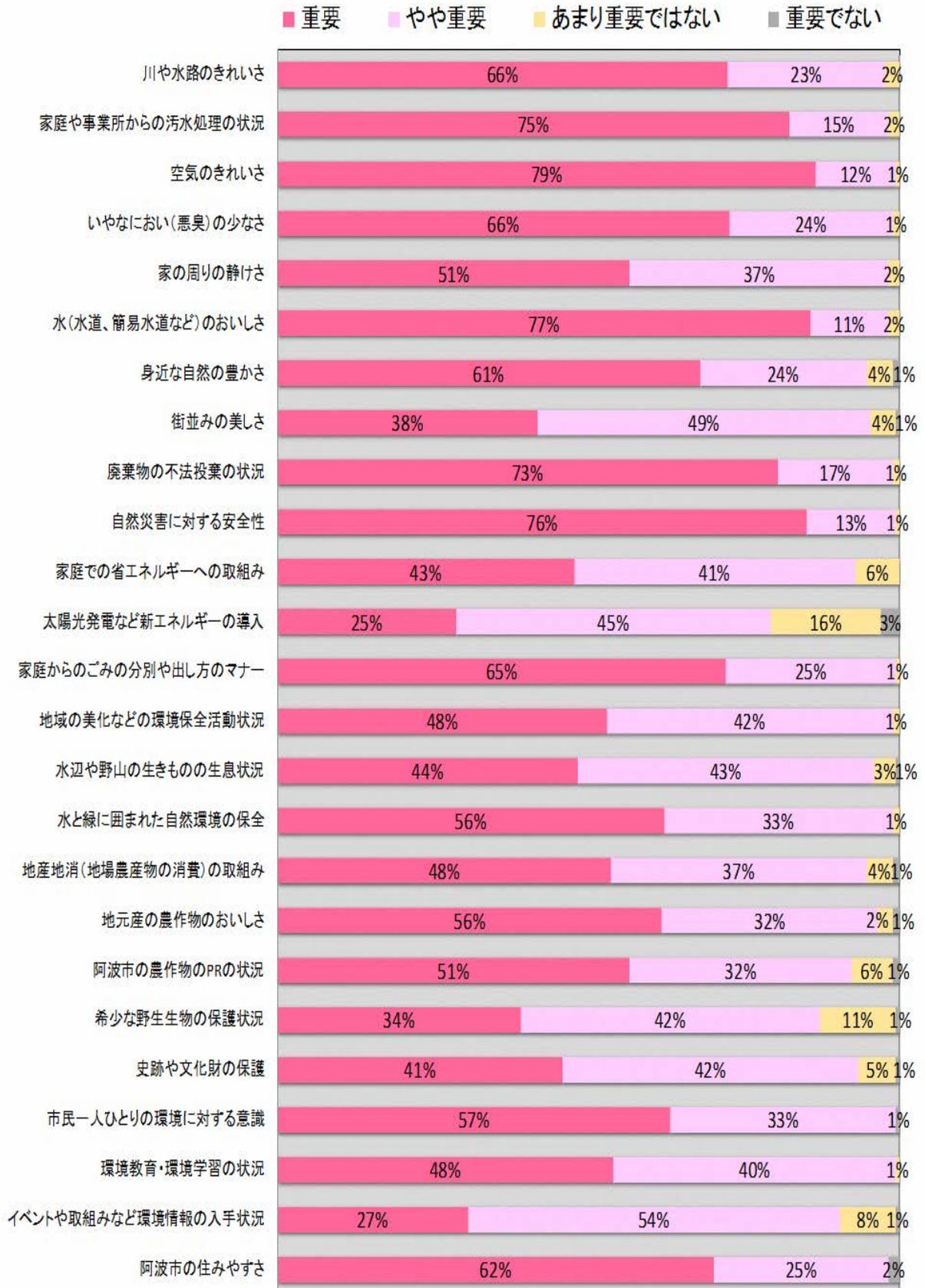


(4) アンケート結果 (重要度)

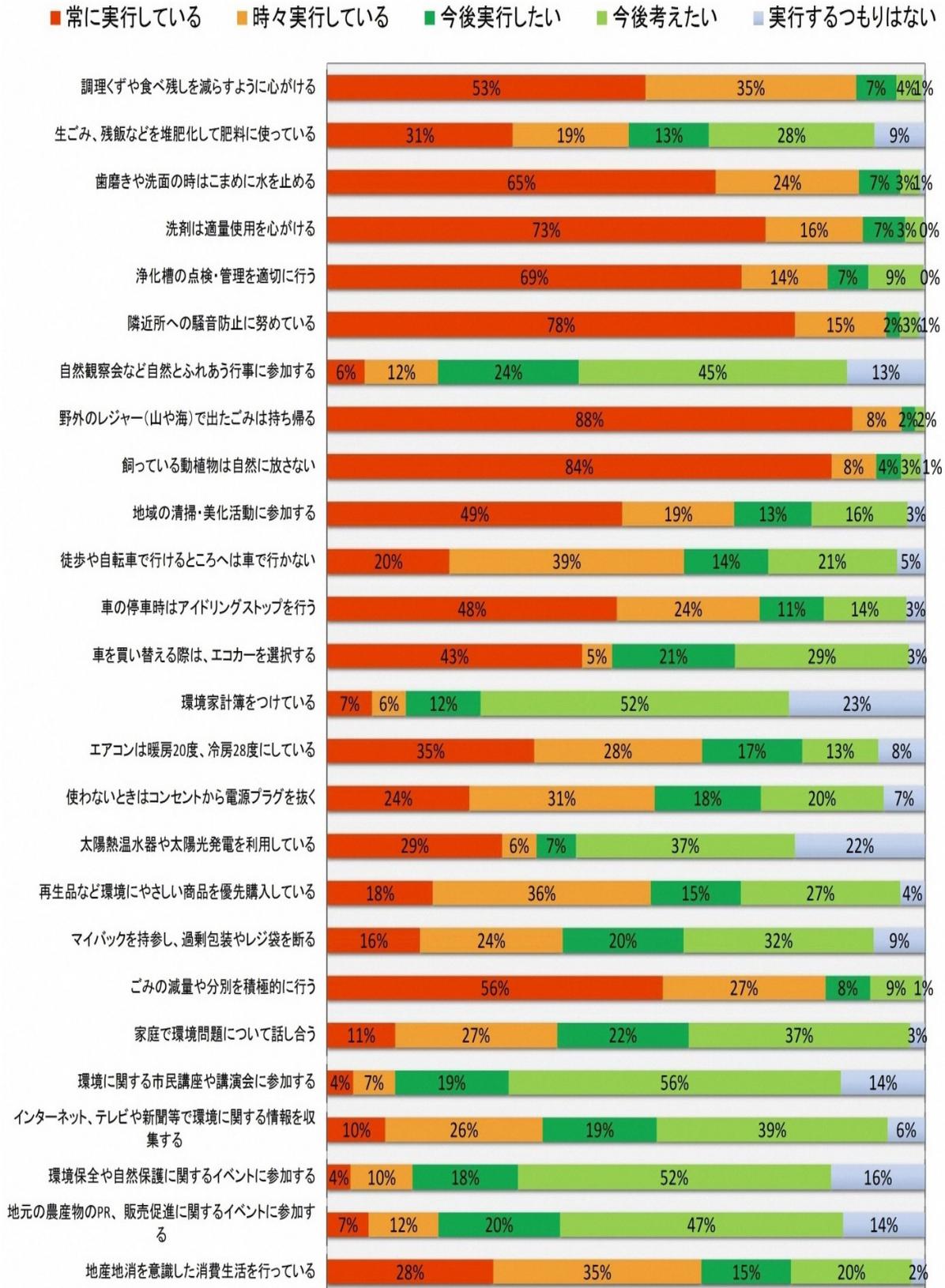
【 市民 】



【 事業所 】



(5) アンケート結果（市民の環境意識）



(6) アンケート結果（事業所の環境意識）

■ 常に行っている ■ 時々実行している ■ 今後実行したい ■ 今後考えたい ■ 実行するつもりはない

